第 72 回日本宇宙航空環境医学会年次大会公開シンポジウム

大分宇宙港 ～地方から宇宙へ

令和8年
12/6日 14:00～16:30
（開場13:30）

J:COM ホルトホール大分　3階 大会議室



参加無料

事前申込 不要

第72回日本宇宙航空環境医学会年次大会公開シンポジウム 大分宇宙港 ～地方から宇宙へ

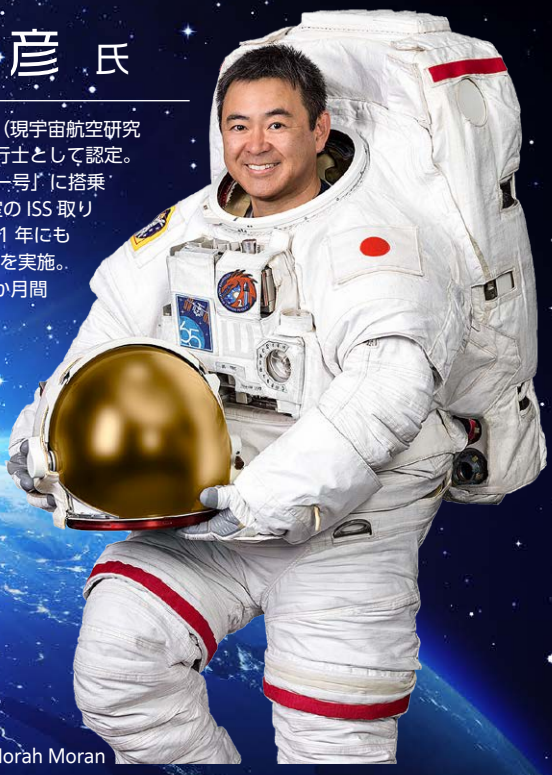
Connecting Oita to the Universe

基調講演

「JAXA宇宙飛行士講演会」

講師 星出彰彦 氏

1968 年生まれ。1992 年、宇宙開発事業団（現宇宙航空研究開発機構（JAXA））入社。2001 年、宇宙飛行士として認定。2008 年、スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗して ISS へ。「きぼう」日本実験棟船内実験室の ISS 取り付け作業などに参加。以来、2012 年と 2021 年にも ISS に滞在し、各種実験、保守、船外活動などを実施。2021 年には ISS 船長（コマンダー）を約 5 か月間務めた。



提供:JAXA/NASA/Norah Moran

主催 ／日本宇宙航空環境医学会　共催／大分県、国東市、国立大学法人大分大学
後援／ 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送
JCOM マーケティング株式会社、エフエム大分

お問合せ
第72回日本宇宙航空環境医学会大会事務局
E-mail:jsasem72.office@gmail.com


大分宇宙港

第 72 回日本宇宙航空環境医学会年次大会公開シンポジウム

大分宇宙港～地方から宇宙へ

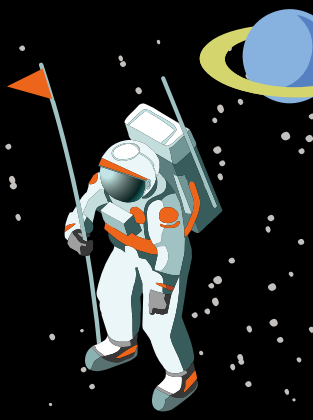
日本宇宙航空環境医学会は、宇宙航空環境をはじめとする特殊環境における人体への影響等について、医学や歯学，看護学，薬学，心理学，人間工学等関連分野の研究を推進し、その成果を広く社会へ還元することを目的として活動しています。
宇宙の開発については民間宇宙ステーションの計画が加速するなどにより宇宙のビジネス利用が普及し、誰もが宇宙へ行く時代の到来が現実味を帯びてきています。こうした動向を踏まえて、大分県では大分空港を宇宙港として活用し、宇宙を旅した人々を大分の地にお迎えする構想を進めています。
本シンポジウムは、このたび本学会が大分の地で開催される機会を捉え、大分県内の自治体や大学と連携し、現役の宇宙飛行士を講師としてお迎えして、大分宇宙港とこれからの有人宇宙利用についてともに考える機会とすることを目指して開催します。宇宙に関心のある皆様のご来場を心よりお待ちしております。

シンポジウムプログラム

基調講演



「JAXA宇宙飛行士講演会」
講師　星出彰彦 氏



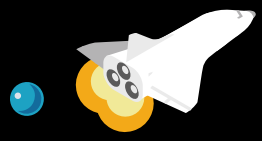
取組紹介

上野　剛（大分県商工観光労働部　先端技術挑戦課）
「大分宇宙港構想について」

徳丸　治（大分大学福祉健康科学部教授・日本宇宙航空環境医学会理事）
「これからの宇宙医学」

パネルディスカッション

佐藤　元彦（大分県商工観光労働部　審議監）
松井　督治（大分県国東市長）
藪亀　尋子（大分県立国東高等学校教諭（SPACE コース担任））
猪股　雅史（大分大学医学部長）





総合司会
佐藤伊音
OAB大分朝日放送アナウンサー

主催／日本宇宙航空環境医学会　共催／大分県、国東市、国立大学法人大分大学
後援／大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、JCOM マーケティング株式会社、エフエム大分